

結果報告書(特定大規模事業者用)

2022 年 7 月 27 日

神奈川県知事殿

郵便番号 220 - 8625
 住 所 神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号
 氏 名 京浜急行電鉄株式会社
 取締役社長 川俣 幸宏

神奈川県地球温暖化対策推進条例第15条の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名又は名称及び法人にあつては、代表者の氏名		京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏				
事業者の住所又は主たる事務所の所在地		神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号				
特定大規模事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業者(神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則(以下「規則」という。)第2条第1号該当の事業者)	原油換算エネルギー使用量の合計量	7,716	kl	○
	<input type="checkbox"/>	連鎖化事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業者(規則第2条第2号該当の事業者)		うち	2,669	
	<input type="checkbox"/>	対象自動車を100台以上使用する事業者(規則第2条第3号該当の事業者)	使用台数	うち		台
主たる事業の業種	大 分 類	<input type="checkbox"/> A 農業, 林業 <input checked="" type="checkbox"/> K 不動産業, 物品賃貸業 <input type="checkbox"/> B 漁業 <input type="checkbox"/> L 学術研究, 専門・技術サービス業 <input type="checkbox"/> C 鉱業, 採石業, 砂利採取業 <input type="checkbox"/> M 宿泊業, 飲食サービス業 <input type="checkbox"/> D 建設業 <input type="checkbox"/> N 生活関連サービス業, 娯楽業 <input type="checkbox"/> E 製造業 <input type="checkbox"/> O 教育, 学習支援業 <input type="checkbox"/> F 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> P 医療, 福祉 <input type="checkbox"/> G 情報通信業 <input type="checkbox"/> Q 複合サービス事業 <input type="checkbox"/> H 運輸業, 郵便業 <input type="checkbox"/> R サービス業(他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> I 卸売業, 小売業 <input type="checkbox"/> S 公務(他に分類されるものを除く) <input type="checkbox"/> J 金融業, 保険業				
	中 分 類	K 69 不動産賃貸業・管理業				
連 絡 先	部 署 名	経営戦略室 計画担当				
	電 話 番 号	045	-	225	-	9242
	F A X 番 号	045	-	225	-	9395
	電子メールアドレス	mizuki.obara_q7b@keikyu-group.jp				

※受付欄	※特記欄	<書類作成を委託した場合の連絡先> 社名: 株式会社京急ビルマネジメント 部署名: PM事業本部 PM第1部 担当者名: 宮崎 広通 電話番号: 045-307-3801 電子メールアドレス: hiromichi.mivazaki_b4w@keikyu-group.jp
------	------	--

2019	年度	～	2021	年度
------	----	---	------	----

3 計画期間中のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び排出量の削減の目標(規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)

県内に設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	2018 年度 (年度～ 年度)				
	年度ごとの排出量の推移	基準排出量の合計量	計画の初年度の排出量の合計量	2年度目の排出量の合計量	3年度目の排出量の合計量	
		(基) 6,740 tCO ₂ (調) 6,770	(基) 6,460 tCO ₂ (調) 6,490	(基) 5,340 tCO ₂ (調) 5,370	(基) 5,140 tCO ₂ (調) 5,160	
		4年度目の排出量の合計量	5年度目の排出量の合計量	目標とした最終年度の排出量の合計量	削減率	
(基) tCO ₂ (調)	(基) tCO ₂ (調)	(基) 6,673 tCO ₂ (調) 6,702	(基) 23.74 % (調) 23.78			
県内に設置している全ての工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位			
	年度ごとの排出量原単位の推移	基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位	
		(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率	
(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) % (調)			
計画期間内におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明	<p><削減目標の達成状況> 最終年度のCO2排出量は、基準年度に対して23.74%の削減となり目標を達成した。</p> <p><削減目標の達成の要因> ・2019年度に実施した照明のLED化と空調設備整備等の、エネルギー使用量削減に資する対策の成果が2020年度以降通年で現れ、削減効果を積み増した。 (新型コロナウイルス感染症により時間短縮等の通常と異なる営業があったことから、削減効果の定量評価は困難) ・ホテル・観光施設・商業施設において新型コロナウイルス感染症による来場者数減によりエネルギー使用量が減少した。 これらの主体的な対策と、外部要因による影響により、CO2排出量が減少した。</p>					
設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	年度ごとの排出量の推移	基準排出量の合計量	計画の初年度の排出量の合計量	2年度目の排出量の合計量	3年度目の排出量の合計量	
		(基) tCO ₂ (調)	(基) tCO ₂ (調)	(基) tCO ₂ (調)	(基) tCO ₂ (調)	
		4年度目の排出量の合計量	5年度目の排出量の合計量	目標とした最終年度の排出量の合計量	削減率	
		(基) tCO ₂ (調)	(基) tCO ₂ (調)	(基) tCO ₂ (調)	(基) % (調)	
	年度ごとの排出量原単位の推移	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位		
		基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位	
		(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率	
(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) % (調)			

4 計画期間中のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び排出量の削減の目標(規則第2条第3号該当の事業者)

県内で使用している全自動車のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	年度 (年度～ 年度)			
	年度ごとの排出量の推移	基準排出量の合計量	計画の初年度の排出量の合計量	2年度目の排出量の合計量	3年度目の排出量の合計量
		tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂
		4年度目の排出量の合計量	5年度目の排出量の合計量	目標とした最終年度の排出量の合計量	削減率
	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂	%	
県内で使用している全自動車の排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位		
	年度ごとの排出量原単位の推移	基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位
		4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率
				%	
計画期間内におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明					
対象自動車の使用状況	使用台数			割合	
	総数		台		
	うち電気自動車		台	%	
	うち天然ガス自動車		台	%	
	うちハイブリッド自動車		台	%	
		うちディーゼル代替LPガス自動車	台	%	

使用している全ての自動車におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出に関する状況等	年度ごとの排出量の推移	基準排出量の合計量	計画の初年度の排出量の合計量	2年度目の排出量の合計量	3年度目の排出量の合計量
		tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂
		4年度目の排出量の合計量	5年度目の排出量の合計量	目標とした最終年度の排出量の合計量	削減率
	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂	%	
年度ごとの排出量原単位の推移	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位		
	基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位	
	4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率	
				%	

5 排出量の削減の目標を達成するための措置の内容

工場等に おける排 出量の削 減の目標 を達成す るための 具体的な 措置 (規則第 2条第1 号又は 第2号該 当事業 者)	計画	実施の結果
	<p>○推進体制の整備 (1101) 計画推進責任者および推進責任者、技術管理者を選任し、推進体制を構築する</p> <p>○主要設備等の保安全管理 (1103) 設備機器の適切な運用と維持保全を実施する</p> <p>○エネルギー使用量の管理 (1105) 各事業所においてエネルギー使用量の把握をする</p> <p>○照明設備対策 (1401) 順次LED照明器具の導入を実施する</p>	<p>○推進体制の整備 (1101) 計画推進責任者および推進責任者、技術管理者を毎年度選任し、推進体制を構築した。</p> <p>○主要設備等の保安全管理 (1103) 設備機器の適切な運用と維持保全を毎月実施した。</p> <p>○エネルギー使用量の管理 (1105) 各事業所においてエネルギー使用量を毎月把握した。</p> <p>○照明設備対策 (1401) 順次LED照明器具の導入を実施した。 久里浜京急ビル：95台 (2019年度)</p>
対象自動 車の排出 量の削減 の目標を 達成する ための具 体的な措 置 (規則 第2条第 3号該 当事業 者)	計画	
再生可能 エネルギー 等のその 他の具体 的な措置	計画	実施の結果

	計画	実施の結果
工場等における排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)		

	計画	実施の結果
対象自動車の排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置(規則第2条第3号該当の事業者)		

	計画	実施の結果
再生可能 エネルギー等の 導入その 他の具体 的な措置		

6 地域の地球温暖化対策の推進への貢献

計画	実施の結果
<p>○森林の保全 小網代近郊緑地保全区域では、神奈川県指定に同意し、所有する約10ヘクタールを自主保存することで、地域の自然環境の保全に貢献している。</p>	<p>○森林の保全 小網代近郊緑地保全区域では、神奈川県指定に同意し、所有する約10ヘクタールを自主保存することで、地域の自然環境の保全に貢献した。(貢献活動実施継続中)</p>

7 温室効果ガスの排出の量の削減に寄与する製品の開発その他の温室効果ガスの排出の量の削減等に関する取組

計画	実施の結果
<p>○環境への取り組み 鉄道事業では、電力回生ブレーキ車両導入の推進、車両・踏切道・車庫線へのLED照明導入の推進等、羽田空港国際線ターミナル駅への太陽光パネルの導入等を実施する。</p>	<p>○環境への取り組み ・鉄道事業では省エネルギー性能に優れた新造車両の導入を推進しており、2010年には従来の抵抗制御車両を廃止し、全車両が「電力回生ブレーキ」を備えた省エネ車両へ切り替えた。更に、1990年からは、「界磁チョップ制御方式」よりさらに電力回生効率を高めた「VVVF制御方式」を採用。電力量の削減効果は約30%に及んでいる。 実績(2021年度) 界磁チョップ制御車16両/VVVF制御車782両 (導入率約98%) ・駅および車両照明用設備のLED化 実績(2021年度) ①駅…30%完了 ②車両…63%完了 ・羽田空港国際線ターミナル駅への太陽光パネルの導入 実績(2019~2021年度) 2010年に設置した太陽光パネルを2019~2021年度においても管理・活用した。 ・再生可能エネルギーへの置き換え 実績(2021年度) ①京急線19駅(東神奈川~金沢八景、逗子線全駅)の業務用電力量 ②グループ12社が入居する京急グループ本社の電力</p>

(第7面)
(個別票)

京浜急行電鉄株式会社

10 エネルギー管理指定工場等ごとのエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況、排出量の削減の目標及び当該目標を達成するための措置の内容

(1) 工場等の名称等

工場等の名称			
工場等の所在地			
工場等の規模	建築物の延べ面積		m ²
連絡先	部署名		
	電話番号	-	-
	FAX番号	-	-
	電子メールアドレス		

(2) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標

工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	年度ごとの排出量の推移	基準排出量	計画の初年度の排出量	2年度目の排出量	3年度目の排出量
		(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	(基) tCO ₂
		4年度目の排出量	5年度目の排出量	目標とした最終年度の排出量	削減率
		(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	(基) %
工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位		
	年度ごとの排出量原単位の推移	基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位
		(基)	(基)	(基)	(基)
		4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率
		(基)	(基)	(基)	(基) %
計画期間内におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明					

(3) 工場等の排出量の削減の目標を達成するための措置の内容

	対策の区分		対策の内容	実施状況	未実施の理由
	番号	名称			
1				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
2				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
3				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
4				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
5				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
6				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
7				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
8				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
9				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
10				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
11				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
12				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
13				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
14				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
15				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	

- 備考
- ※印の欄は、記入しないでください。
 - のある欄には、該当する口内にレ印又は■を付してください。
 - 第1面の1の「主たる事業の業種」の欄には統計法第28条の規定に基づき、産業に関する分類を定める件(平成25年総務省告示第405号)に定める日本標準産業分類の大分類及び中分類を、第6面の8及び9の「日本標準産業分類における細分類番号」の欄には日本標準産業分類の細分類番号を記入してください。
 - 第4面の5の欄には、排出量の削減の目標を達成するための事業者の対策の計画及び実施の結果を具体的に記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付してください。
 - 第5面の6の欄には、中小企業への省エネルギー技術の普及・移転、環境教育の実施、森林の保全・緑化の推進などの分野をはじめとする具体的な取組の計画及び実施の結果を記載してください。
 - 規則第2条第1号又は第2号該当の事業者にあつては、総括票及び個別票を作成した工場等ごとに、最終年度における排出量の算定の根拠を明らかにする書類を添付してください。また、個別票には、使用している設備の管理状況及び排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容を確認できる書類を添付してください。
 - 規則第2条第3号該当の事業者にあつては、最終年度における排出量の算定の根拠を明らかにする書類、使用している自動車の管理状況及び排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容が確認できる書類を添付してください。

別紙1(エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表) 2022年度提出用(2021年度実績値) Ver.2

事業者名: 京浜急行電鉄株式会社 対象: 全県(総括)

原油換算エネルギー使用量(kL)		7,716	二酸化炭素排出合計量(tCO2) (有効数字3桁処理後)		基礎	調整後
					14,100	14,000
排出量原単位の指標			排出量原単位 (tCO2/)			
名称	量	単位	基礎		調整後	

エネルギーの種類	エネルギー使用量				販売されたエネルギー量			熱量A-熱量B (※2)	エネルギー起源二酸化炭素						
	数値A	単位	単位発熱量	熱量A (GJ)	数値B	単位	熱量B (GJ)		CO2排出係数		単位	CO2排出量(tCO2)			
									基礎	調整後		基礎	調整後		
燃料	原油(コンデンセートを除く。)	0	kL	38.2	0	0	kL	0	0	0.0187	0.0187	tC/GJ	0	0	
	原油のうちコンデンセート(NGL)	0	kL	35.3	0	0	kL	0	0	0.0184	0.0184	tC/GJ	0	0	
	揮発油(ガソリン)	0	kL	34.6	0	0	kL	0	0	0.0183	0.0183	tC/GJ	0	0	
	ナフサ	0	kL	33.6	0	0	kL	0	0	0.0182	0.0182	tC/GJ	0	0	
	灯油	209	kL	36.7	7,670	0	0	kL	0	7,670	0.0185	0.0185	tC/GJ	520	520
	軽油	0	kL	37.7	0	0	0	kL	0	0	0.0187	0.0187	tC/GJ	0	0
	A重油	212	kL	39.1	8,289	0	0	kL	0	8,289	0.0189	0.0189	tC/GJ	574	574
	B・C重油	0	kL	41.9	0	0	0	kL	0	0	0.0195	0.0195	tC/GJ	0	0
	石油アスファルト	0	t	40.9	0	0	t	0	0	0.0208	0.0208	tC/GJ	0	0	
	石油コークス	0	t	29.9	0	0	t	0	0	0.0254	0.0254	tC/GJ	0	0	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	58	t	50.8	2,946	0	t	0	2,946	0.0161	0.0161	tC/GJ	174	174
		石油系炭化水素ガス	0	千m³	44.9	0	0	千m³	0	0	0.0142	0.0142	tC/GJ	0	0
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	0	t	54.6	0	0	t	0	0	0.0135	0.0135	tC/GJ	0	0
		その他可燃性天然ガス	0	千m³	43.5	0	0	千m³	0	0	0.0139	0.0139	tC/GJ	0	0
	石炭	原料炭	0	t	29.0	0	0	t	0	0	0.0245	0.0245	tC/GJ	0	0
		一般炭	0	t	25.7	0	0	t	0	0	0.0247	0.0247	tC/GJ	0	0
		無煙炭	0	t	26.9	0	0	t	0	0	0.0255	0.0255	tC/GJ	0	0
	石炭コークス	0	t	29.4	0	0	t	0	0	0.0294	0.0294	tC/GJ	0	0	
	コールタール	0	t	37.3	0	0	t	0	0	0.0209	0.0209	tC/GJ	0	0	
	コークス炉ガス	0	千m³	21.1	0	0	千m³	0	0	0.0110	0.0110	tC/GJ	0	0	
高炉ガス	0	千m³	3.41	0	0	千m³	0	0	0.0263	0.0263	tC/GJ	0	0		
転炉ガス	0	千m³	8.41	0	0	千m³	0	0	0.0384	0.0384	tC/GJ	0	0		
都市ガス	1,111	千m³	45.0	49,995	0	0	千m³	0	49,995	0.0136	0.0136	tC/GJ	2,493	2,493	
小計				68,900			0	68,900					3,761	3,761	
熱	産業用蒸気	0	GJ	1.02	0	0	GJ	0	0	0.060	0.060	tCO2/GJ	0	0	
	産業用以外の蒸気	3,919	GJ	1.36	5,330	0	GJ	0	3,919	0.057	0.057	tCO2/GJ	223	223	
	温水	0	GJ	1.36	0	0	GJ	0	0	0.057	0.057	tCO2/GJ	0	0	
	冷水	7,281	GJ	1.36	9,902	0	GJ	0	7,281	0.057	0.057	tCO2/GJ	415	415	
	小計		11,200	GJ		15,232	0	GJ	0	11,200				638	638
電気	A0269_東京電力エナジーパートナー(株)	メニューG	昼間	19,527	千kWh	9.97	194,684	0	千kWh	194,684	0.000447	0.000443	tCO2/kWh	8,729	8,650
		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0	0.000447	0.000443	tCO2/kWh	0	0
	A0050_ENEOS(株)	メニューC	昼間	2,030	千kWh	9.97	20,239	0	千kWh	20,239	0.000461	0.000480	tCO2/kWh	936	974
		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0	0.000461	0.000480	tCO2/kWh	0	0
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh	0			tCO2/kWh		
		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0			tCO2/kWh		
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh	0			tCO2/kWh		
		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0			tCO2/kWh		
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh	0			tCO2/kWh		
		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0			tCO2/kWh		
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh	0			tCO2/kWh		
夜間		0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0			tCO2/kWh			
その他	上記以外の買電(※1)	0	千kWh	9.76	0	0	千kWh	0	0	0.000000	0.000000	tCO2/kWh	0	0	
小計		21,557	千kWh		214,923		千kWh						9,665	9,624	
合計				299,055									14,064	14,023	

※1 一般送配電事業者、送電事業者及び特定送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給を受ける電気以外の電気及び自己託送制度を用いて供給を受ける電気で使用した電力がある場合に記入してください。

※2 「熱」に該当するエネルギー種(産業用蒸気等)については、(数値A)-(数値B)

別紙1(エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表) 2022年度提出用(2021年度実績値) Ver.2

事業者名: 京浜急行電鉄株式会社 対象: 横浜・川崎(総括)

原油換算エネルギー使用量(kL)		5,047	二酸化炭素排出合計量(tCO2) (有効数字3桁処理後)		基礎	調整後
					8,920	8,870
排出量原単位の指標			排出量原単位 (tCO2/)			
名称	量	単位	基礎		調整後	

エネルギーの種類	エネルギー使用量				販売されたエネルギー量			熱量A-熱量B (※2)	エネルギー起源二酸化炭素						
	数値A	単位	単位発熱量	熱量A (GJ)	数値B	単位	熱量B (GJ)		CO2排出係数		単位	CO2排出量(tCO2)			
									基礎	調整後		基礎	調整後		
燃料	原油(コンデンセートを除く。)	0	kL	38.2	0	0	kL	0	0	0.0187	0.0187	tC/GJ	0	0	
	原油のうちコンデンセート(NGL)	0	kL	35.3	0	0	kL	0	0	0.0184	0.0184	tC/GJ	0	0	
	揮発油(ガソリン)	0	kL	34.6	0	0	kL	0	0	0.0183	0.0183	tC/GJ	0	0	
	ナフサ	0	kL	33.6	0	0	kL	0	0	0.0182	0.0182	tC/GJ	0	0	
	灯油	0	kL	36.7	0	0	kL	0	0	0.0185	0.0185	tC/GJ	0	0	
	軽油	0	kL	37.7	0	0	kL	0	0	0.0187	0.0187	tC/GJ	0	0	
	A重油	0	kL	39.1	0	0	kL	0	0	0.0189	0.0189	tC/GJ	0	0	
	B・C重油	0	kL	41.9	0	0	kL	0	0	0.0195	0.0195	tC/GJ	0	0	
	石油アスファルト	0	t	40.9	0	0	t	0	0	0.0208	0.0208	tC/GJ	0	0	
	石油コークス	0	t	29.9	0	0	t	0	0	0.0254	0.0254	tC/GJ	0	0	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0	t	50.8	0	0	t	0	0	0.0161	0.0161	tC/GJ	0	0
		石油系炭化水素ガス	0	千m³	44.9	0	0	千m³	0	0	0.0142	0.0142	tC/GJ	0	0
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	0	t	54.6	0	0	t	0	0	0.0135	0.0135	tC/GJ	0	0
		その他可燃性天然ガス	0	千m³	43.5	0	0	千m³	0	0	0.0139	0.0139	tC/GJ	0	0
	石炭	原料炭	0	t	29.0	0	0	t	0	0	0.0245	0.0245	tC/GJ	0	0
		一般炭	0	t	25.7	0	0	t	0	0	0.0247	0.0247	tC/GJ	0	0
		無煙炭	0	t	26.9	0	0	t	0	0	0.0255	0.0255	tC/GJ	0	0
	石炭コークス	0	t	29.4	0	0	t	0	0	0.0294	0.0294	tC/GJ	0	0	
	コールタール	0	t	37.3	0	0	t	0	0	0.0209	0.0209	tC/GJ	0	0	
	コークス炉ガス	0	千m³	21.1	0	0	千m³	0	0	0.0110	0.0110	tC/GJ	0	0	
高炉ガス	0	千m³	3.41	0	0	千m³	0	0	0.0263	0.0263	tC/GJ	0	0		
転炉ガス	0	千m³	8.41	0	0	千m³	0	0	0.0384	0.0384	tC/GJ	0	0		
都市ガス	871	千m³	45.0	39,195	0	千m³	0	39,195	0.0136	0.0136	tC/GJ	1,955	1,955		
小計				39,195			0	39,195				1,955	1,955		
熱	産業用蒸気	0	GJ	1.02	0	0	GJ	0	0	0.060	0.060	tCO2/GJ	0	0	
	産業用以外の蒸気	3,919	GJ	1.36	5,330	0	GJ	0	3,919	0.057	0.057	tCO2/GJ	223	223	
	温水	0	GJ	1.36	0	0	GJ	0	0	0.057	0.057	tCO2/GJ	0	0	
	冷水	7,281	GJ	1.36	9,902	0	GJ	0	7,281	0.057	0.057	tCO2/GJ	415	415	
	小計		11,200	GJ		15,232	0	GJ	0	11,200			638	638	
電気	A0269_東京電力エナジーパートナー(株)	メニューG	昼間	14,162	千kWh	9.97	141,195	0	千kWh	141,195	0.000447	0.000443	tCO2/kWh	6,330	6,274
		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0	0.000447	0.000443	tCO2/kWh	0	0
	A0050_ENEOS(株)(旧JXTGエネルギー(株))	メニューC	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh	0	0.000461	0.000480	tCO2/kWh	0	0
		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0	0.000461	0.000480	tCO2/kWh	0	0
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh	0			tCO2/kWh		
		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0			tCO2/kWh		
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh	0			tCO2/kWh		
		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0			tCO2/kWh		
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh	0			tCO2/kWh		
		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0			tCO2/kWh		
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh	0			tCO2/kWh		
夜間		0	千kWh	9.28	0	0	千kWh	0	0			tCO2/kWh			
その他	上記以外の買電(※1)	0	千kWh	9.76	0	0	千kWh	0	0	0.000000	0.000000	tCO2/kWh	0	0	
小計		14,162	千kWh		141,195		千kWh						6,330	6,274	
合計					195,622								8,923	8,867	

※1 一般送配電事業者、送電事業者及び特定送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給を受ける電気以外の電気及び自己託送制度を用いて供給を受ける電気で使用した電力がある場合に記入してください。

※2 「熱」に該当するエネルギー種(産業用蒸気等)については、(数値A)-(数値B)

別紙1(エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表) 2022年度提出用(2021年度実績値) Ver.2

事業者名: 京浜急行電鉄株式会社 対象: 横浜・川崎を除く県域(総括)

原油換算エネルギー使用量(kL)		2,669	二酸化炭素排出合計量(tCO2) (有効数字3桁処理後)		基礎	調整後
					5,140	5,160
排出量原単位の指標			排出量原単位 (tCO2/)			
名称	量	単位	基礎		調整後	

エネルギーの種類	エネルギー使用量				販売されたエネルギー量			熱量A-熱量B (※2)	エネルギー起源二酸化炭素							
	数値A	単位	単位発熱量	熱量A (GJ)	数値B	単位	熱量B (GJ)		CO2排出係数		単位	CO2排出量(tCO2)				
									基礎	調整後		基礎	調整後			
燃料	原油(コンデンセートを除く。)	0	kL	38.2	0	0	kL	0	0	0.0187	0.0187	tC/GJ	0	0		
	原油のうちコンデンセート(NGL)	0	kL	35.3	0	0	kL	0	0	0.0184	0.0184	tC/GJ	0	0		
	揮発油(ガソリン)	0	kL	34.6	0	0	kL	0	0	0.0183	0.0183	tC/GJ	0	0		
	ナフサ	0	kL	33.6	0	0	kL	0	0	0.0182	0.0182	tC/GJ	0	0		
	灯油	209	kL	36.7	7,670	0	0	kL	0	7,670	0.0185	0.0185	tC/GJ	520	520	
	軽油	0	kL	37.7	0	0	0	kL	0	0	0.0187	0.0187	tC/GJ	0	0	
	A重油	212	kL	39.1	8,289	0	0	kL	0	8,289	0.0189	0.0189	tC/GJ	574	574	
	B・C重油	0	kL	41.9	0	0	0	kL	0	0	0.0195	0.0195	tC/GJ	0	0	
	石油アスファルト	0	t	40.9	0	0	t	0	0	0.0208	0.0208	tC/GJ	0	0		
	石油コークス	0	t	29.9	0	0	t	0	0	0.0254	0.0254	tC/GJ	0	0		
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	58	t	50.8	2,946	0	t	0	2,946	0.0161	0.0161	tC/GJ	174	174	
		石油系炭化水素ガス	0	千m³	44.9	0	0	千m³	0	0	0.0142	0.0142	tC/GJ	0	0	
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	0	t	54.6	0	0	t	0	0	0.0135	0.0135	tC/GJ	0	0	
		その他可燃性天然ガス	0	千m³	43.5	0	0	千m³	0	0	0.0139	0.0139	tC/GJ	0	0	
	石炭	原料炭	0	t	29.0	0	0	t	0	0	0.0245	0.0245	tC/GJ	0	0	
		一般炭	0	t	25.7	0	0	t	0	0	0.0247	0.0247	tC/GJ	0	0	
		無煙炭	0	t	26.9	0	0	t	0	0	0.0255	0.0255	tC/GJ	0	0	
	石炭コークス	0	t	29.4	0	0	t	0	0	0.0294	0.0294	tC/GJ	0	0		
	コールタール	0	t	37.3	0	0	t	0	0	0.0209	0.0209	tC/GJ	0	0		
	コークス炉ガス	0	千m³	21.1	0	0	千m³	0	0	0.0110	0.0110	tC/GJ	0	0		
高炉ガス	0	千m³	3.41	0	0	千m³	0	0	0.0263	0.0263	tC/GJ	0	0			
転炉ガス	0	千m³	8.41	0	0	千m³	0	0	0.0384	0.0384	tC/GJ	0	0			
都市ガス	240	千m³	45.0	10,800	0	0	千m³	0	10,800	0.0136	0.0136	tC/GJ	539	539		
小計				29,705			0	29,705					1,807	1,807		
熱	産業用蒸気	0	GJ	1.02	0	0	GJ	0	0	0.060	0.060	tCO2/GJ	0	0		
	産業用以外の蒸気	0	GJ	1.36	0	0	GJ	0	0	0.057	0.057	tCO2/GJ	0	0		
	温水	0	GJ	1.36	0	0	GJ	0	0	0.057	0.057	tCO2/GJ	0	0		
	冷水	0	GJ	1.36	0	0	GJ	0	0	0.057	0.057	tCO2/GJ	0	0		
	小計		0	GJ		0	0	GJ	0	0				0	0	
電気	A0269_東京電力エナジーパートナー(株)	メニューG	昼間	5,365	千kWh	9.97	53,489	0	千kWh		53,489	0.000447	0.000443	tCO2/kWh	2,398	2,377
		メニューG	夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh		0	0.000447	0.000443	tCO2/kWh	0	0
	A0050_ENEOS(株)	メニューC	昼間	2,030	千kWh	9.97	20,239	0	千kWh		20,239	0.000461	0.000480	tCO2/kWh	936	974
		メニューC	夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh		0	0.000461	0.000480	tCO2/kWh	0	0
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh		0			tCO2/kWh		
		メニューを選択	夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh		0			tCO2/kWh		
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh		0			tCO2/kWh		
		メニューを選択	夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh		0			tCO2/kWh		
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh		0			tCO2/kWh		
		メニューを選択	夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh		0			tCO2/kWh		
	電気事業者名を選択	メニューを選択	昼間	0	千kWh	9.97	0	0	千kWh		0			tCO2/kWh		
メニューを選択		夜間	0	千kWh	9.28	0	0	千kWh		0			tCO2/kWh			
その他	上記以外の買電(※1)	0	千kWh	9.76	0	0	千kWh		0	0.000000	0.000000	tCO2/kWh	0	0		
小計		7,395	千kWh		73,728		千kWh							3,334	3,351	
合計					103,433									5,141	5,158	

※1 一般送配電事業者、送電事業者及び特定送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給を受ける電気以外の電気及び自己託送制度を用いて供給を受ける電気で使用した電力がある場合に記入してください。

※2 「熱」に該当するエネルギー種(産業用蒸気等)については、(数値A)-(数値B)

事業活動温暖化対策計画書（特定大規模事業者用）

2022 年 7 月 31 日

神奈川県知事殿

郵便番号 220 - 8625
住 所 横浜市西区高島1丁目2番8号
氏 名 京浜急行電鉄株式会社
取締役社長 川俣 幸宏

神奈川県地球温暖化対策推進条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名又は名称及び法人にあつては、代表者の氏名		京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏				計画対象
事業者の住所又は主たる事務所の所在地		横浜市西区高島1丁目2番8号				
特定大規模事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業者（神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則（以下「規則」という。）第2条第1号該当の事業者）	原油換算エネルギー使用量の合計量	7,716	kl	○
	<input type="checkbox"/>	連鎖化事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業者（規則第2条第2号該当の事業者）		うち	2,669	
	<input type="checkbox"/>	対象自動車を100台以上使用する事業者（規則第2条第3号該当の事業者）	使用台数	うち		台
主たる事業の業種	大 分 類	<input type="checkbox"/> A 農業、林業 <input checked="" type="checkbox"/> K 不動産業、物品賃貸業 <input type="checkbox"/> B 漁業 <input type="checkbox"/> L 学術研究、専門・技術サービス業 <input type="checkbox"/> C 鉱業、採石業、砂利採取業 <input type="checkbox"/> M 宿泊業、飲食サービス業 <input type="checkbox"/> D 建設業 <input type="checkbox"/> N 生活関連サービス業、娯楽業 <input type="checkbox"/> E 製造業 <input type="checkbox"/> O 教育、学習支援業 <input type="checkbox"/> F 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> P 医療、福祉 <input type="checkbox"/> G 情報通信業 <input type="checkbox"/> Q 複合サービス事業 <input type="checkbox"/> H 運輸業、郵便業 <input type="checkbox"/> R サービス業（他に分類されないもの） <input type="checkbox"/> I 卸売業、小売業 <input type="checkbox"/> S 公務（他に分類されるものを除く） <input type="checkbox"/> J 金融業、保険業				
	中 分 類	K 69 不動産賃貸業・管理業				
連 絡 先	部 署 名	経営戦略室 計画担当				
	電 話 番 号	045	-	225	-	9242
	F A X 番 号	045	-	225	-	9395
	電子メールアドレス	mizuki.obara_q7b@keikyu-group.jp				

※受付欄	※特記欄	<書類作成を委託した場合の連絡先> 社名：株式会社京急ビルマネジメント 部署名：PM事業本部 PM第1部 担当者名：宮崎 広通 電話番号：045-307-3801 電子メールアドレス： hiromichi.mivazaki_b4w@keikyu-group.jp
------	------	---

2 計画期間

2022	年度	～	2023	年度
------	----	---	------	----

3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

【京急グループ環境基本方針】

私たちは、あらゆる事業活動や社会貢献活動を通じて、地球環境の保全と環境負荷の低減に努め、持続的発展が可能な社会の形成に貢献します。

【TCFDに基づく情報開示と「京急グループ2050年カーボンニュートラル」の策定】

京急電鉄では、ESGへの取り組みを経営のベースと位置付け、事業活動により発生する温室効果ガスの排出抑制に向け取り組みを進めている。そして、さらなる持続可能な社会の実現を目指し、2022年6月に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に基づく情報の開示をはじめ、長期環境目標として「京急グループ2050年カーボンニュートラル」を策定した。この長期環境目標の達成に向けた中間目標として、温室効果ガス排出量を「2030年度末において2019年度比30%削減」と設定し、「省エネ」・「創エネ」・「再エネ」といった各事業における戦略を検討し、グループ全体で目標達成に向け取り組みを進めていく。

今後、上記に基づく対応として、県内における事業活動に伴う温室効果ガスの排出削減に向け、2022年度～2023年度の2年間においては、省エネによるエネルギー使用量の総量を削減する活動に加え、地産地消の再エネ電力の採用や、環境価値証書・非化石証書をはじめとするクレジットの活用なども視野に入れ、県内の事業所から排出される温室効果ガス排出量の削減に取り組む。

<温室効果ガスを効果的に削減していくための取組についての基本的な考え方>

- ・既存の事業所でのLED化を計画的に推進する。
- ・感染症対策と省エネの両立を図るため、最新の全熱交換器の導入エリアを拡大する。
- ・空調換気設備の計画的な更新・整備を実施する。
- ・地域の地球温暖化対策の推進への貢献としては、植物の植樹、森の自然環境の保全を実施しており、今後も継続していく。

4 排出量の削減の目標等 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)

県内に設置している全ての工場等における排出量の削減の目標等	基準年度	2021 年度 (年度～ 年度)		最終年度における排出量の合計量	(基) 5,719 (調) 5,746	tCO ₂	
	基準排出量の合計量	(基) 5,140 (調) 5,160	tCO ₂				
	目標削減率	(基) -11.3 (調) -11.4	%				
県内に設置している全ての工場等における排出量原単位による排出量の削減の目標等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位			
	基準年度における排出量原単位	(基) (調)		最終年度における排出量原単位	(基) (調)		
	目標削減率	(基) (調)	%				
	生産数量又は建物延床面積以外の値を原単位の指標として使用する場合には、その理由						
排出量の削減の目標の設定に関する説明	<p><これまでの取組状況> 神奈川県内の事業所において、前期は設備の運転状況の効率化等により、計画期間に1%のエネルギーの削減を目指し、①設備の運転状況を把握し、最適運転②LED照明器具等の取組みを進めてきた。これらの効果とともに、新型コロナウイルスの影響による事業環境の変化もあり、目標を達成した。</p> <p><今期の事業活動の見込み> 新型コロナウイルスの影響も減少し、各施設の利用者が今後3年間で2019年度のレベルまで復する見込み。</p> <p><今期の削減目標設定に関する考え方> 今期の基準年度である2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての事業所が通常の業務を実施できず、営業時間の短縮やテレワークによる在席人数が減少により、エネルギー使用量も減少した。今期は復調の傾向もあり、エネルギー使用量の増加が想定されるため、計画期間を2年間とし、2022年6月に策定した「京急グループ2050年カーボンニュートラル」の目標達成に向けた中間目標「2030年度末において2019年度比30%削減(年3%ずつ削減)」達成計画に基づき、計画の実施とともに、さらなるエネルギー使用の合理化のための対策を検討する。</p> <p><削減目標達成に向けた今期の主な取組> この目標を達成するため、今期は、主に次のような対策に取り組んでいく予定である。 (感染症対策としての換気量増大を前提とする) ①推進体制の整備：主要設備の保全管理、エネルギー使用量の管理対策の強化 ②空調・換気設備の計画的な更新・整備 ③照明設備の更新 ④再エネ電力、各種クレジットの活用検討</p>						
設置している全ての工場等における排出量の削減の目標等	工場等における排出量	基準排出量の合計量	(基) (調)	tCO ₂	最終年度における排出量の合計量	(基) (調)	tCO ₂
		目標削減率	(基) (調)	%			
	工場等における排出量原単位	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位		
		基準年度における排出量原単位	(基) (調)		最終年度における排出量原単位	(基) (調)	
	目標削減率	(基) (調)	%				

5 排出量の削減の目標等 (規則第2条第3号該当の事業者)

県内で使用している全ての対象自動車の排出量の削減の目標等	基準年度	年度 (年度～ 年度)		最終年度における排出量の合計量	tCO ₂		
	基準排出量の合計量		tCO ₂				
	目標削減率		%				
県内で使用している全ての対象自動車の排出量原単位による排出量の削減の目標等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位			
	基準年度における排出量原単位			最終年度における排出量原単位			
	目標削減率		%				
	走行距離又は輸送量以外の値を原単位の指標として使用する場合にあっては、その理由						
排出量の削減の目標の設定に関する説明							
対象自動車の使用状況	使用台数			割合			
	総数		台				
	うち電気自動車		台	%			
	うち天然ガス自動車		台	%			
	うちハイブリッド自動車		台	%			
	うちディーゼル代替LPガス自動車		台	%			
使用している全ての自動車における排出量の削減の目標等	自動車における排出量	基準排出量の合計量		tCO ₂	最終年度における排出量の合計量		tCO ₂
		目標削減率		%			
	自動車における排出量原単位	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位		
		基準年度における排出量原単位			最終年度における排出量原単位		
		目標削減率		%			

6 排出量の削減の目標を達成するための措置の内容

<p>工場等における排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)</p>	<p><運用対策> ○推進体制の整備 (1101) ・計画推進責任者および推進責任者、技術管理者を選任し、推進体制を構築する。</p> <p>○主要設備等の保全管理 (1103) ・設備機器の適切な運用と日常点検による維持保全を実施する。</p> <p>○エネルギー使用量の管理 (1105) ・各事業所において月ごとのエネルギー使用量を把握し、前年との比較、稼働床面積等の影響を検討し、使用量の適切な管理、削減対策の早期実施、課題発掘等の実施につなげ、改善を図る。</p> <p>○その他 (9999) ・購入電力をCO2排出係数の少ないプラン、購入ガスをカーボンニュートラルLNGへ変更することを検討 ・地産地消の再エネ電力の採用や、環境価値証書・非化石証書をはじめとするクレジットの活用などを検討</p> <p><設備導入等対策> ○空気調和設備対策 (1201) ・空調換気設備の計画的な更新・整備を実施する。</p> <p>○換気設備対策 (1204) ・感染症対策と省エネの両立を図るため、最新の全熱交換器の導入エリアを拡大する。</p> <p>○照明設備対策 (1401) ・既存の事業所でのLED化を計画的に推進する。</p>
<p>対象自動車の排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置 (規則第2条第3号該当の事業者)</p>	
<p>再生可能エネルギー等の導入その他の具体的な措置</p>	<p><これまでの導入又は導入に向けた検討の状況></p> <p><今期の導入予定等></p>

7 地域の地球温暖化対策の推進への貢献

<森林保全・緑化推進>

○神奈川県による「小網代近郊緑地保全区域」の指定に同意し、所有する約10haを自主保存するとともに、約2haを神奈川県に寄付した。また2014年8月には森林内を散策するための木道を一部整備して神奈川県に寄付、2018年5月には常設トイレの設置に伴い神奈川県に敷地を貸与するなど、小網代の森の自然環境保全に協力している。

8 温室効果ガスの排出の量の削減に寄与する製品の開発その他の温室効果ガスの排出の量の削減等に関する取組

○再生可能エネルギー由来の実質CO2排出ゼロの電力の採用

・神奈川県と東京電力EPが提供する、神奈川県営水力発電所から電力を調達するメニュー「アクアdeパワーかながわ」を、グループ12社が入居する京急グループ本社に導入することで、本ビルにおける電力由来のCO2排出量をゼロとするほか、電気料金の支払いを通じて神奈川県の環境施策の推進にも貢献している。

11 エネルギー管理指定工場ごとの排出量の削減の目標及び当該目標を達成するための措置の内容

(1) 工場等の名称等

工場等の名称			
工場等の所在地			
工場等の規模	建築物の延べ面積		m ²
連絡先	部署名		
	電話番号	-	-
	FAX番号	-	-
	電子メールアドレス		

(2) 工場等の排出量の削減の目標等

工場等における排出量の削減の目標等	基準排出量 (基)		tCO ₂	最終年度における排出量 (基)		tCO ₂
	目標削減率 (基)		%			
工場等における排出量原単位による排出量の削減の目標等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位		
	基準年度における排出量原単位 (基)			最終年度における排出量原単位 (基)		
	目標削減率 (基)		%			
	生産数量又は建物延床面積以外の値を原単位の指標として使用する場合にあっては、その理由					
排出量の削減の目標の設定に関する説明						

(3) 工場等の排出量の削減の目標を達成するための措置の内容

	対策の区分		対策の内容
	番号	名称	
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

- 備考 1 ※印の欄は、記入しないでください。
- 2 □のある欄には、該当する□内にレ印又は■を付してください。
- 3 第1面の1の「主たる事業の業種」の欄には統計法第28条の規定に基づき、産業に関する分類を定める件（平成25年総務省告示第405号）に定める日本標準産業分類の大分類及び中分類を、第7面の9及び10の「日本標準産業分類における細分類番号」の欄には日本標準産業分類の細分類番号を記入してください。
- 4 第2面の3の欄には、計画書を作成するに当たっての基本的な考え方を記入してください。
- 5 第5面の6の欄には、排出量の削減の目標を達成するための事業者の対策を具体的に記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付してください。
- 6 第6面の7の欄には、中小企業への省エネルギー技術の普及・移転、環境教育の実施、森林の保全・緑化の推進などの分野をはじめとする具体的な取組を記載してください。
- 7 規則第2条第1号又は第2号該当の事業者にあつては、総括票及び個別票を作成した工場等ごとに、排出量の算定の根拠を明らかにする書類を添付してください。また、個別票には、使用している設備の管理状況及び排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容を確認できる書類を添付してください。
- 8 規則第2条第3号該当の事業者にあつては、排出量の算定の根拠を明らかにする書類並びに使用している対象自動車の管理状況及び排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容を確認できる書類を添付してください。